

株主のみなさまへ
第82期 中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜りまことにありがたく、御礼申し上げます。ここに第82期中間報告書(平成18年4月1日～平成18年9月30日)をお届けし、当中間期の業績の概況、事業の概況、経営方針につきましてご説明いたします。

業績の概況

連結売上高につきましては、増産効果などにより、前年中間期に比べ958億円(24.1%)増加の4,931億円となりました。うちシート・トリムなどの内装品は、前年中間期に比べ917億円(26.2%)増加の4,424億円となり、フィルター・パワートレイン機器部品は、エアフィルターなどの増産により、前年中間期に比べ27億円(8.4%)増加の354億円となり、繊維・外装品他は、前年中間期に比べ13億円(9.5%)増加の153億円となりました。

連結経常利益につきましては、製品価格の変動や労務費の増加などの減益要因はありましたものの、増産の効果、グループあげての合理化などにより、前年中間期に比べ63億円(45.3%)増加の204億円となりました。連結中間純利益につきましては、前年中間期に比べ45億円(60.5%)増加の120億円となりました。当期の中間配当金につきましては、前期の中間配当金に比べ2円増配して、1株につき9円とさせていただきます。また、年間の配当金につきましては、前期に比べ2円増配の1株につき18円を予定しております。

事業の概況

当社グループは自動車用内装システムサプライヤーとして、提案力の強化を進めており、国内ではトヨタ自動車株式会社のグローバル車種であるカムリおよびレクサスブランドの旗艦車種LSが生産開始となりました。また自動車用フィルター総合メーカーとして世界一の製品づくりを目指し、システム化・モジュール化の面ではより省スペース化した吸気システムを、環境対応面ではエレメント交換型オイルフィルターを、また快適性向上面では抗菌・抗カビ処理を施したキャビンエアフィルターなどの生産・販売を進めております。



取締役会長 好川 純一



取締役社長 豊田 周平

グローバル展開といたしましては、ロシアとカナダに生産子会社を設立し、生産・営業拠点の拡充を進めております。アメリカでは当社グループ会社との業務の一体化を図るべく、営業・調達の強化を進めております。

経営方針

急速な海外展開を進めるなか、当社グループでは真のグローバルカンパニーを志向して、新技術・新製品を世界に提供する競争基盤を一層強化してまいりました。今後も「よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す」という基本理念のもと、株主のみなさまをはじめお客さま、従業員、地域社会のみなさまの信頼に応えるとともに「モノづくり」の精神を大切に、世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーを目指して、常にお客さまの潜在ニーズの発掘・創出に努め事業の拡大・発展を図ってまいります。中長期の経営戦略といたしましては 1 快適な車室空間の提供 2 世界トップの自動車用フィルターの提供 3 グローバルな供給体制の構築 を掲げつつ、より具体的にはシステム化・モジュール化商品の開発など新技術・オンリーワン技術の獲得や海外事業の強化による収益向上を重点とした活動を展開して、2010年度連結売上高1兆3,000億円、利益につきましては適正利益の確保に向けて推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年11月

取締役会長

好川純一

取締役社長

豊田周平

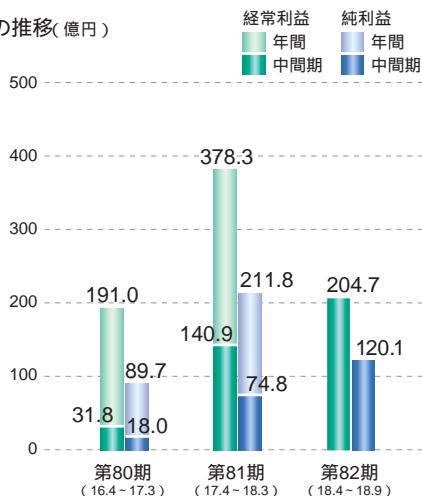
財務ハイライト

連結決算

連結売上高の推移(億円)

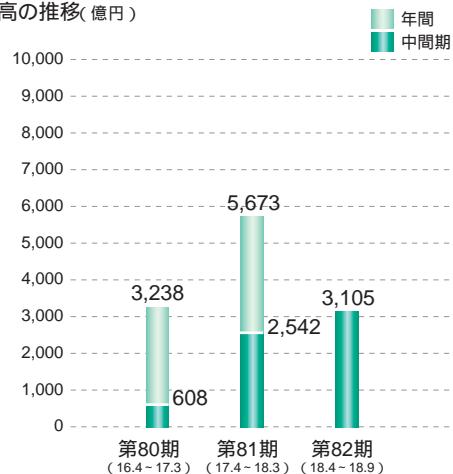


連結利益の推移(億円)

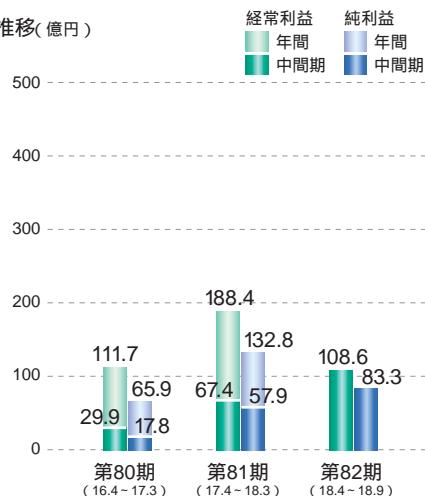


単独決算

単独売上高の推移(億円)



単独利益の推移(億円)





LEXUS
LS460□
レクサス LS460

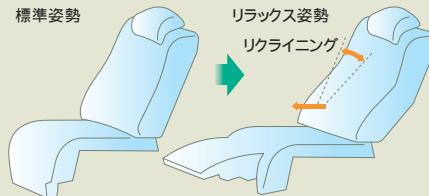
リヤシートリラクゼーションシステム

松下電器産業株式会社、アイシン精機株式会社と共同開発



フラッグシップにふさわしい、快適な移動空間を実現。

限られた車室空間のなかで、人間工学に基づいたリラックス姿勢を実現しました。従来のパイレーションに加え、世界初となる手のひらサイズのエア袋をシート背部に8つ装備。ポイント的に圧力を加えることができます。また静粛性を優先してポンプユニットはトランク内に搭載したほか、美観を重視してシート本体とオットマンを一体に設計。高級車にふさわしい高い意匠性を持たせました。またオットマンは薄型にデザインされており、不使用時には座面下に収納できるようにになっています。可動部にはリンク構造を採用することで、ひときわなめらかな動きを実現しています。



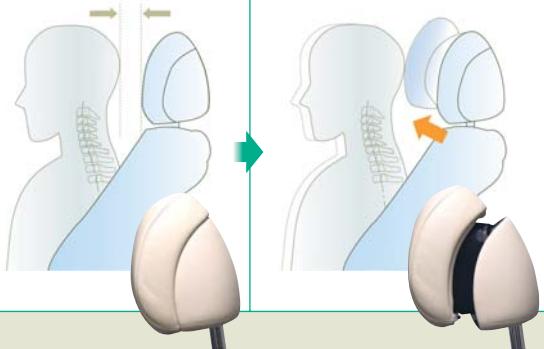
世界初

プリクラッシュインテリジェントヘッドレスト

アイシン精機株式会社、矢崎総業株式会社と共同開発

作動前

作動後



世界初、後方からの危険に備える安全技術を開発。

後方ミリ波レーダーにより後続車の異常接近を感知すると、追突に備えて静電容量センサーにより乗員の頭部の位置を測定。ヘッドレストを適切な位置に移動させ、頭部と接触させることで、むち打ち傷害を軽減させることに成功しました。高度な機能を備えながらも、通常のヘッドレストのサイズにすべてのシステムを集約させました。また高級車にふさわしい意匠性を求めて、複雑な配線もすべてステー内に納めました。

セグメント情報

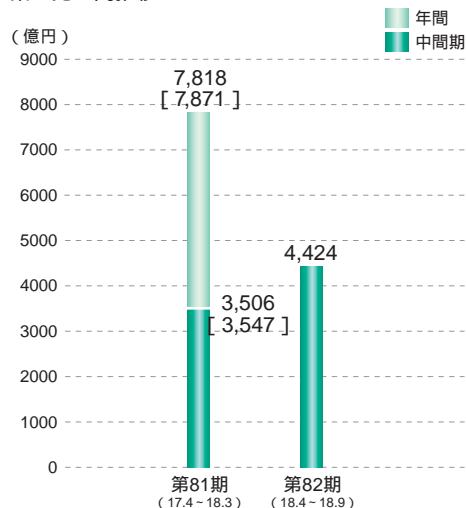
内装品事業

社会の、そして自動車メーカーのますます高度化するニーズに応えて、売上高4,424億円を実現。

当社は車室内全体をトータルに捉え、車室空間全体のコンセプトづくりから開発・設計・調達・生産まで一貫して行う内装システムサプライヤーとして独自の地歩を築いており、車両メーカーや仕入先との緊密な連携のもと、初期段階から車室空間の開発に携わって商品力のいっそうの強化を図っています。単にパーツやモジュールを組み合わせるのではなく、インパネを除くシート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される車室内の空間全体を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとして捉え、トータルな美しさや快適性・安全性を追求しているのはもちろん、製造から廃棄までの各段階における環境負荷の軽減を徹底しています。

増産による効果に加え、年々高度化する社会のニーズ、自動車メーカーからの要請にタイムリーに応えることにより、連結売上高は、前年中間期に比べ917億円(26.2%)増加の4,424億円となりました。

内装品事業の売上高推移



当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。[]内は組替前

内装システム製品



その他 バックゲートレイ、本木パネル 豊田通商ブランド品

セグメント情報

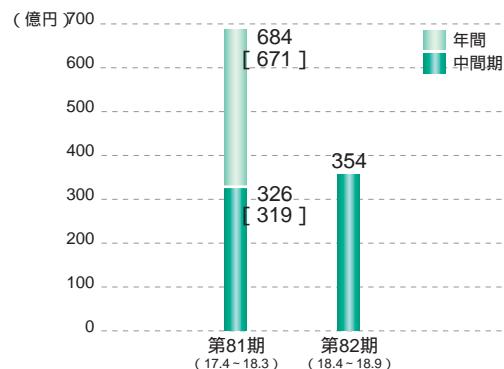
フィルター・パワートレイン機器部品事業

世界トップの自動車用フィルターメーカーとして、
より高性能な製品づくりを追求。

当社の源流事業である繊維技術を活かして、世界をリードするフィルトレーション技術の向上に努めており、高効率、長寿命、低圧力損失を実現する世界トップのフィルター製品を開発・製造してきました。エンジン吸気系ではエンジンの高効率化や小型・軽量化に対応した吸気システム製品を、またエンジン潤滑系では環境負荷を大幅に低減したエレメント交換型オイルフィルターを、さらに車室内空調系では高性能除塵脱臭フィルターや高性能花粉除去フィルターなどを開発・生産しています。

連結売上高は、エアフィルターの増産などにより前年中間期に比べ27億円(8.4%)増加の354億円となりました。

フィルター・パワートレイン機器部品事業の売上高推移



当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。[]内は組替前

吸気システム製品



オイルフィルター



エアフィルター



キャビンエアフィルター



オートマチックトランスミッション用フィルター



HC吸着フィルター



(ガソリン蒸気吸着フィルター)

樹脂製インテークマニホールド



エアクリーナー



樹脂製エアクリーナー一体型シリンダーヘッドカバー



ABSコイル



その他 シリンダーヘッドカバー、レゾネーター、エアチューブ、エンジン意匠カバー、タイミングベルトカバー、回転センサー、2輪用イグニッションコイル

DENSOブランド品

繊維・外装品事業

新規素材の開発をはじめ、よりいっそうの快適性の追求や環境に優しい製品づくりを推進。

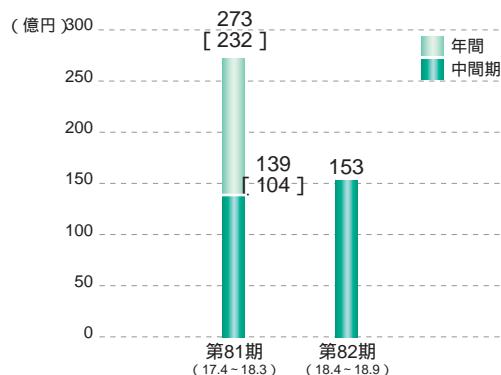
時代のニーズを先取りして、よりいっそうの快適性・高機能を追求した製品づくりを進めています。繊維事業では、自動車用カーテンシールドエアバッグをはじめシートファブリックや天井表皮材、および高機能ユニフォームなどの分野で新規素材の開発を行っているほか環境に優しい製品づくりへの取り組みを積極的に推進しています。また外装品の分野では高度な安全性を要求される補給用バンパー、フェンダーライナーの生産を行っています。

連結売上高は、前年中間期に比べ13億円(9.5%)増加の153億円となりました。

繊維		外装品
カーテンシールドエアバッグ 	シートファブリック 	補給用バンパー 
パーティションネット 	各種ユニホーム 	フェンダーライナー 
ストラップベルト シートベルトウェビング 		エンジンアンダーカバー 

その他 フロアマット、エアバッグ基布、ラグゲージネット、
オーラムーンパリーシリーズなど 豊田通商ブランド品

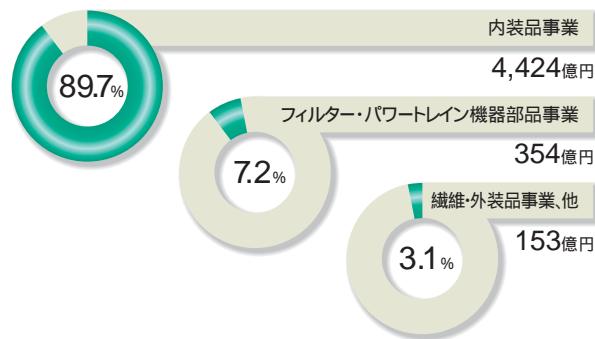
繊維・外装品事業、他の売上高推移



当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしています。[]内は組替前

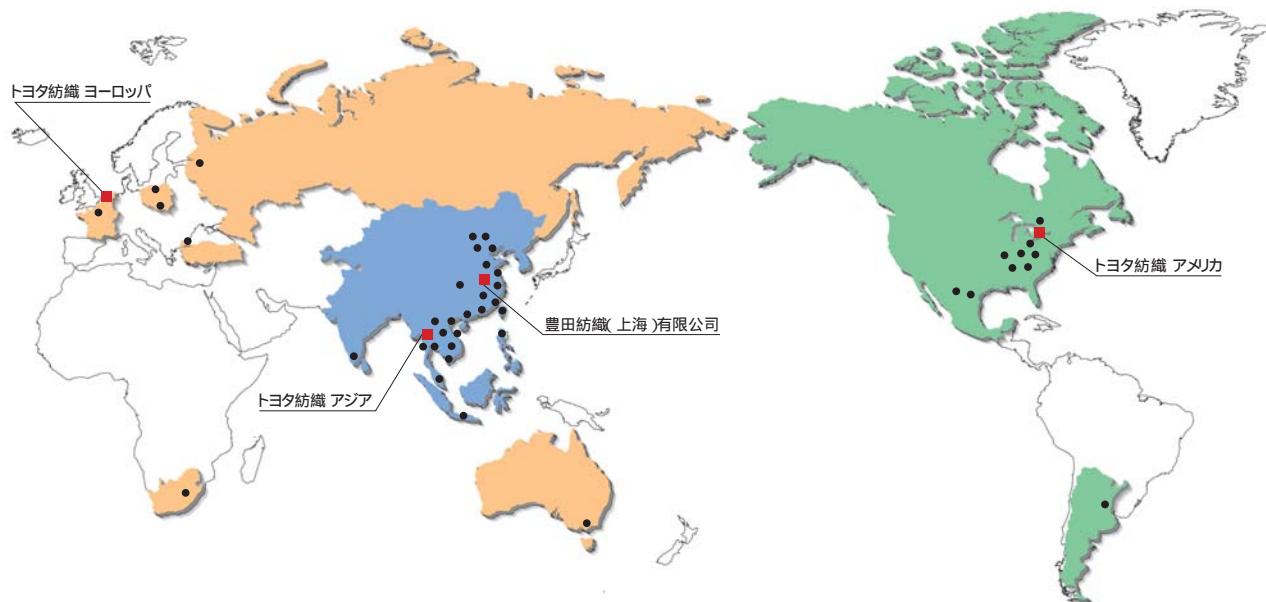
事業別情報

各事業の売上構成(第82期 18.4-18.9)



地域別情報

■…………地域統括・開発・営業拠点
●…………生産拠点



海外関係会社 (平成18年9月30日現在)

アジア

地域統括・開発・営業拠点 / 豊田紡織(上海)有限公司 トヨタ紡織 アジア
 生産拠点 / 成都豊田紡織自動車部品有限公司 豊登(広州)自動車座席部品有限公司 広州桜泰
 自動車部品有限公司 昆山豊田紡織自動車部品有限公司 寧波亜楽克汽車部品有限公司 寧波
 豊田紡織自動車部品有限公司 上海豊田紡織自動車部品有限公司 天津豊愛自動車座席部品有限公司
 天津英泰汽車飾件有限公司 天津華豊汽車裝飾有限公司 天津豊田紡織自動車部品有限公司
 佛山豊田紡織汽車零部件有限公司 新三興股份有限公司 トヨタ紡織オートモーティブ
 インディア アパディバインド オートテック トヨタ紡織UMW トヨタ紡織フィリピン ARST(タイ
 イランド) SK オート インテリア STB テキスタイルズ インダストリー タイ オートモーティブシー
 ティング アンド インテリア タイシートベルト トヨタ紡織フィルトレーション システム(タイランド)
 トヨタ紡織ハイフォン トヨタ紡織ハノイ 他2社

北中南米

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 アメリカ
 生産拠点 / ARJ マニュファクチュアリング エコテクノロジー TBDN テネシー トータルインテ
 リア システムズ アメリカ トヨタボウ マニュファクチュアリング ケンタッキー トリム マスターズ トヨタ
 紡織 カナダ アラコ デメキシコ トヨタ紡織 モンテレー マスタートリム デアルゼンチン 他13社

その他

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 ヨーロッパ
 生産拠点 / トヨタ紡織 フランス TBMECA ポーランド トヨタ紡織 ロシア トリム・リーダー トヨタ
 紡織トルコ トヨタ紡織 南アフリカ トヨタ紡織 オーストラリア 他1社

連結子会社および関連会社 (平成18年9月30日現在)

	子会社	関連会社
日 本	16社(15社)	4社(5社)
北 中 南 米	23社(22社)	1社(1社)
ア ジ ア	24社(24社)	5社(5社)
そ の 他	7社(6社)	2社(2社)

()内は前期末

国内関係会社

(平成18年9月30日現在)

アイホー株式会社	株式会社TB岩手	トヨタ車体精工株式会社
アラコ九州相知株式会社	株式会社TBエンジニアリング	トヨタ紡織九州株式会社
エーアールサービス株式会社	TBクリエイティブ株式会社	トヨタ紡織滋賀株式会社
株式会社KYOEI ARACO	TBトランスポート株式会社	ナルコ株式会社
グリーン化成株式会社	株式会社ティービーサービス	ハイニード工業株式会社
株式会社コベルク	株式会社ティービーハイテック	ファミンク株式会社
タカテック株式会社	株式会社テクニカルリンクスデザイン	<五十音順>

地域別の概況

日本

国内売上高は、トヨタ自動車株式会社の国内生産が増加したことにより、ラクティス、RAV4、ベルタ、bB、カムリ、FJクルーザー、エスティマの内装品 生産が増加したこと、またグローバルプレミアムブランド「レクサス」のシート、ドアトリム生産が増加したことにより、前年中間期に比べ548億円(22.4%)増加し、2,990億円となりました。

北中南米(アメリカ・カナダ・メキシコ・アルゼンチン)

北中南米での売上高は、北米においてトヨタ自動車株式会社のカムリの内装品 生産が好調に推移したこと、アルゼンチンでIMVシリーズの生産が増加したこと、またメキシコでゼネラル モーターズのシボレーHHRのシート生産が増加したことにより、前年中間期に比べ79億円(7.4%)増加し、1,147億円となりました。

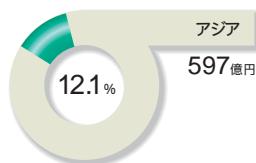
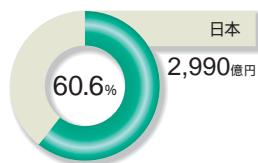
アジア(中国・タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・インドなど)

アジアでの売上高は、ベトナム、タイにおいてトヨタ自動車株式会社のIMVシリーズの生産が増加したこと、ベトナムでカーテンシールドエアバッグの生産が増加したこと、また中国でカムリをはじめクラウンやレイツ、タイでヤリスとカムリの生産が増加したことにより、前年中間期に比べ292億円(95.3%)増加し、597億円となりました。

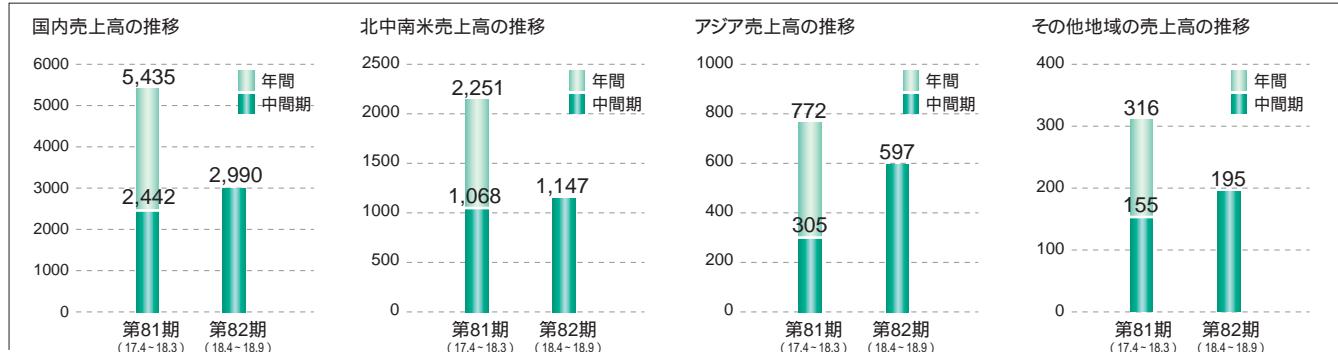
その他(トルコ・南アフリカ・オーストラリアなど)

その他地域での売上高は、南アフリカにおいてトヨタ自動車株式会社のIMVシリーズのシート、ドアトリム生産が開始したのをはじめ、フランスで補給用バンパーの生産が開始したこと、またオーストラリアでトヨタ自動車株式会社のカムリのシート、ドアトリム生産が増加したことにより、前年中間期に比べ40億円(25.6%)増加し、195億円となりました。

内装品...シート、ドアトリムなど



売上高の推移(億円)



トピックス

グローバル展開

▶ ロシア、カナダに自動車用内装品生産会社を設立。

平成18年4月、豊田通商株式会社と合併で、ロシア連邦 サンクトペテルブルク市に自動車用シートを生産する「トヨタ紡織ロシア」を設立しました。トヨタ自動車株式会社の現地法人 Toyota Motor Manufacturing Russia の工場内で、カムリのシートを生産し供給します。

また、平成18年7月、カナダ オンタリオ州ウッドストック市に自動車用内装品を生産する「トヨタ紡織カナダ」を設立し、9月に鍍入れ式を実施しました。当社が単独出資する初めてのシート生産会社として、トヨタ自動車の現地法人 Toyota Motor Manufacturing Canada向けにRAV4のシート、ドアトリム、カーペット等の内装品を生産し供給します。



トヨタ紡織カナダ鍍入れ式

新たに設立した会社

国	設立	社名	生産品目	備考
ロシア	平成18年4月	トヨタ紡織ロシア	シート	豊田通商株式会社との合併
カナダ	平成18年7月	トヨタ紡織カナダ	シート、ドアトリム、カーペット	

生産を開始した会社

国	生産開始	社名	生産品目	備考
中国	平成18年4月	広州桜泰汽車飾件有限公司	シート、ドアトリム、成形天井、他	
中国	平成18年4月	豊愛(広州)汽車座椅部件有限公司	シートフレーム、シート用機能部品	アイシン精機株式会社との合併
中国	平成18年7月	佛山豊田紡織汽車零部件有限公司	オイルフィルター	株式会社デンソーとの合併
南アフリカ	平成18年4月	トヨタ紡織南アフリカ	シート、ドアトリム、他	豊田通商株式会社との合併
フランス	平成18年5月	トヨタ紡織フランス	補給用バンパー	

環境

▶ 国内のトヨタ紡織グループにて「環境安全衛生委員会」を発足。

平成18年9月、国内の子会社(14社)まで拡大した「トヨタ紡織グループ国内環境安全衛生委員会」を発足させました。定期的に会議を開催し、連結子会社各社の状況を把握するなど、子会社の課題に即した環境・安全衛生活動を推進していきます。これによりグループ各社が互いに連携し刺激しあいながら、環境と安全衛生への取り組みをより一層推進できると考えます。

社会貢献

▶ インドネシアで「熱帯林再生プロジェクト」を企画。

平成18年7月、トヨタ紡織グループは「グローバル社会貢献活動プログラム」の一環として、インドネシアにおいて「熱帯林再生プロジェクト」の実施を決定し、調印式を行いました。このプロジェクトは植林活動を通じてインドネシアに貢献しようという趣旨で行われるもので、森林造成による自然環境保全と、それに要する周辺住民の雇用促進を通じた経済支援を目的としています。トヨタ紡織のインドネシア現地法人アバディバン・オートテックス(ABA)が現地での活動

国内展開

▶ 滋賀県に自動車部品生産会社を設立。

平成18年9月、滋賀県甲賀市に自動車用フィルター・パワートレイン機器部品、内装品、補給用バンパーを生産する「トヨタ紡織滋賀株式会社」を設立しました。ダイハツ工業株式会社に納入する

初めての専用生産拠点として、樹脂成形部品を中心とした各種部品を生産し、ダイハツ工業株式会社の滋賀工場、京都工場、池田工場、西宮部品センターに供給します。

技 術

▶ 内装システムサプライヤーとして多くの車種を受注し、国内外で生産を開始。

当社グループでは、自動車用内装システムサプライヤーとして国内外でクルマづくりの一翼を担っています。国内ではトヨタ自動車株式会社のレクサスブランド旗艦車種であるLS、海外ではカムリなどが生産開始となりました。

国内

レクサスブランド：レクサスLS(全1車種)



レクサスLS

海外

トヨタ車：カムリ(台湾、中国、オーストラリア、タイ)
世界戦略車IMVシリーズ(南アフリカ)



カムリ

をサポートし、インドネシア東ジャワ州の森林修復指定地域において、5か年で150haの森林「トヨタ紡織グループ環境の森」を造成します。今後は、現地で植林記念式典を開催するほか、トヨタ紡織グループの社員ボランティアによる植林体験ツアーや募金を予定しています。



「熱帯林再生プロジェクト」調印式

▶ 新開発の住宅用網戸が「2006年度グッドデザイン賞」を受賞。

トヨタ自動車株式会社と共同開発した住宅用網戸が、財団法人日本デザイン振興会主催の「2006年度グッドデザイン賞(Gマーク)」を受賞しました。この住宅用網戸は直径124 μ mの極細繊維を用いることにより、防虫性を確保しながらも、従来のおよそ2倍の通風性、および室内からの良好な視野により、一層の開放感を実現したものです。



市販網戸

開放的網戸

スポーツ推進活動

▶ アジア大会ボート競技の日本代表選手として、当社から2名が出場。

平成18年9月、アジア大会ボート競技の日本代表選手9名のうち、2名が当社から選ばれました。同大会は平成18年12月にカタールのドーハにて開催され、他社選手2名と組んで舵手無しフオアに出場します。



代表選手選考会の様子

決算概要

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.9.30現在)	前期 (18.3.31現在)
【資産の部】		
流動資産	223,674	220,637
現金及び預金	37,447	38,107
受取手形及び売掛金	135,797	133,456
有価証券	1,361	1,708
たな卸資産	27,061	25,309
繰延税金資産	5,454	5,003
その他	16,832	17,353
貸倒引当金	280	302
固定資産	182,719	176,054
有形固定資産	152,431	145,683
建物及び構築物	52,401	49,761
機械装置及び運搬具	60,409	53,864
工具器具備品	12,132	11,273
土地	17,805	16,399
建設仮勘定	9,684	14,384
無形固定資産	3,392	3,697
のれん	24	49
その他	3,367	3,647
投資その他の資産	26,895	26,674
投資有価証券	11,447	10,313
繰延税金資産	11,782	11,224
その他	3,820	5,292
貸倒引当金	155	155
合 計	406,393	396,691

科目	当中間期 (18.9.30現在)	前期 (18.3.31現在)
【負債の部】		
流動負債	199,267	198,791
支払手形及び買掛金	135,609	137,094
短期借入金	20,443	19,643
一年以内返済予定の長期借入金	1,898	1,890
未払費用	23,114	22,381
未払法人税等	4,722	4,616
製品保証引当金	1,998	2,148
その他	11,480	11,017
固定負債	30,442	31,357
長期借入金	7,128	7,290
退職給付引当金	19,788	19,565
役員退職慰労引当金	633	715
その他	2,892	3,786
負債計	229,709	230,149
【少数株主持分】		
少数株主持分	—	33,263
【純資産の部】		
株主資本	140,226	130,428
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,013	9,013
利益剰余金	123,259	113,243
自己株式	446	229
評価・換算差額等	1,505	2,851
その他有価証券評価差額金	1,889	2,050
為替換算調整勘定	384	800
新株予約権	4	—
少数株主持分	34,948	—
純資産計	176,684	133,279
合 計	406,393	396,691

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.4.1-18.9.30)	前年中間期 (17.4.1-17.9.30)
売上高	493,136	397,270
売上原価	454,589	368,883
売上総利益	38,547	28,386
販売費及び一般管理費	19,904	16,497
営業利益	18,643	11,889
営業外収益	3,863	3,642
受取利息及び配当金	724	476
その他の営業外収益	3,139	3,165
営業外費用	2,026	1,439
支払利息	833	338
その他の営業外費用	1,192	1,100
経常利益	20,479	14,091
特別利益	939	—
固定資産売却益	99	—
米子子会社の健康保険料返戻金	840	—
税金等調整前中間純利益	21,419	14,091
法人税、住民税及び事業税	7,198	4,939
法人税等調整額	718	639
少数株主利益	2,923	2,307
中間純利益	12,015	7,484

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.4.1-18.9.30)	前年中間期 (17.4.1-17.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,302	20,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,117	15,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,290	1,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	1,195
現金及び現金同等物の増加額(減少額:)	1,127	3,867
現金及び現金同等物の期首残高	39,256	31,881
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	—	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	38,129	35,748

- 1 営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済、配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

単独貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.9.30現在)	前期 (18.3.31現在)
【資産の部】		
流動資産	122,308	125,707
現金及び預金	4,081	8,431
受取手形	5,009	3,780
売掛金	84,127	86,512
有価証券	918	1,196
製品	1,827	1,464
原材料	3,749	2,606
仕掛金	4,899	5,070
貯蔵品	1,125	1,143
前払費用	2,059	1,250
繰延税金資産	4,596	4,240
短期貸付金	1,393	1,713
未収入金	8,114	8,021
その他	457	354
貸倒引当金	53	79
固定資産	133,539	129,625
有形固定資産	71,614	70,379
建物	25,971	26,758
構築物	2,092	2,114
機械装置	22,065	21,801
車両運搬具	281	310
工具器具備品	7,464	7,041
土地	13,364	12,246
建設仮勘定	374	106
無形固定資産	308	309
借地権	269	269
施設利用権	38	39
投資その他の資産	61,616	58,936
投資有価証券	4,272	3,138
関係会社株式・出資金	38,010	36,132
出資金	104	330
長期貸付金	8,310	8,346
長期前払費用	562	803
繰延税金資産	9,883	9,715
その他	605	604
貸倒引当金	132	134
合 計	255,847	255,332

科目	当中間期 (18.9.30現在)	前期 (18.3.31現在)
【負債の部】		
流動負債	121,556	126,522
支払手形	977	982
買掛金	96,528	100,365
一年以内返済予定の長期借入金	1,250	1,250
未払金	3,225	4,699
未払費用	15,236	14,610
未払法人税等	2,340	2,421
製品保証引当金	1,634	1,835
その他	363	356
固定負債	25,235	25,835
長期借入金	5,000	5,625
退職給付引当金	18,373	18,215
役員退職慰労引当金	584	684
預り保証金	1,277	1,309
負債計	146,792	152,357
【純資産の部】		
株主資本	107,163	100,925
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,013	9,013
資本準備金	9,013	9,013
その他資本剰余金	0	—
自己株式処分差益	0	—
利益剰余金	90,195	83,741
利益準備金	2,412	2,412
その他利益剰余金	87,783	81,329
特別償却準備金	51	70
固定資産圧縮積立金	989	1,064
別途積立金	74,913	64,913
繰越利益剰余金	11,829	15,280
自己株式	446	229
評価・換算差額等	1,887	2,049
その他有価証券評価差額金	1,887	2,049
新株予約権	4	—
純資産計	109,055	102,975
合 計	255,847	255,332

単独損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (18.4.1-18.9.30)	前年中間期 (17.4.1-17.9.30)
売上高	310,549	254,246
売上原価	293,681	242,420
売上総利益	16,868	11,826
販売費及び一般管理費	9,767	8,935
営業利益	7,100	2,890
営業外収益	4,671	4,411
受取利息及び配当金	3,311	2,738
その他の営業外収益	1,359	1,672
営業外費用	910	557
支払利息	23	27
その他の営業外費用	887	530
経常利益	10,861	6,744
特別利益	99	—
固定資産売却益	99	—
税引前中間純利益	10,960	6,744
法人税、住民税及び事業税	3,047	1,733
法人税等調整額	417	788
中間純利益	8,330	5,799
前期繰越利益	—	3,316
自己株式処分差損	—	6
中間未処分利益	—	9,109

会社の概況

株式の状況

(平成18年9月30日現在)

株式の総数 …… 発行可能株式総数 500,000,000株 発行済株式の総数 187,665,738株

株主数 …………… 25,858名

所有者別株式分布状況

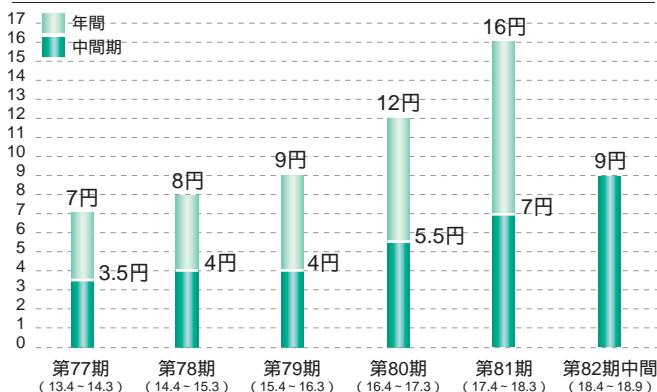


大株主(上位10位)

株主名	株式数
トヨタ自動車株式会社	73,873,995株
東和不動産株式会社	18,346,209株
株式会社デンソー	10,192,100株
株式会社豊田自動織機	7,756,062株
日本発条株式会社	7,220,525株

株主名	株式数
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	6,286,400株
豊田通商株式会社	4,367,100株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,809,100株
資産管理サービス信託銀行	1,838,900株
トヨタ紡織従業員持株会	1,548,919株

配当金の推移



IR活動

株主及び投資家のみなさまに、当社の事業内容をより深くご理解いただくため、個人投資家・証券専門家向け説明会の実施やIRイベントへの出展などのIR活動を積極的に実施しております。



名証IRエキスポ2006

会社概要

(平成18年9月30日現在)

設 立 昭和25年5月
資 本 金 8,400百万円
従業員数 6,666名
本 社 愛知県刈谷市豊田町一丁目1番地

国内拠点

(平成18年9月30日現在)

刈谷工場	高岡工場	御殿場工場
大口工場	土橋工場	東京工場
いなべ工場	下山工場	東京営業所
木曽川工場	藤岡工場	大阪営業所
尾西工場	豊橋北工場	
堤工場	豊橋南工場	
岐阜工場	豊橋東工場	
猿投工場	田原工場	

役員一覧

(平成18年9月30日現在)

取締役および監査役

取締役会長	好川 純一	専務取締役	鳥居 立雄	取締役(常務待遇)	内藤 正	監査役	石川 忠司
取締役社長	豊田 周平	常務取締役	藤川 典一	取締役(常務待遇)	清原 國彦	監査役	岡部 弘
取締役副社長	土肥 義彦	常務取締役	中川 泰	取締役	岡本 一雄	監査役	豊田 章男
専務取締役	野口 満之	常務取締役	栗谷本 強	取締役	小川 王幸		
専務取締役	横内 則之	常務取締役	川窪 英夫	常勤監査役	今泉 潔		
専務取締役	小野 博祥	常務取締役	柴田 和民	常勤監査役	北山 邦幸		

執行役員

常務執行役員	寺坂 邦彦	常務執行役員	寺坂 幸一	執行役員	鈴木 雅史	執行役員	尾関 信幸
常務執行役員	渡辺 俊充	常務執行役員	原 保信	執行役員	上田 広司	執行役員	大島 誠
常務執行役員	小林 伸行	常務執行役員	桂木 正樹	執行役員	宮田 徹	執行役員	山田 義広
常務執行役員	伊藤 文隆	常務執行役員	酒井 賢	執行役員	清水 匠	執行役員	滝 隆道
常務執行役員	飯田 耕次	執行役員	板谷 秀実	執行役員	山本 直	執行役員	西岡 義彦
常務執行役員	古澤 昭	執行役員	千石 郁夫	執行役員	杉江 保彦		

株式事務のお取扱いについて

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金のお支払い 期末配当金は毎年3月31日現在の株主(実質株主を含む)。または登録株式質権者に、中間配当金を支払う場合は9月30日現在の株主(実質株主を含む。)または登録株式質権者にお支払いします。
- 株主名簿管理人 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711
- (同連絡先郵送先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 本店および全国各支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 公告掲載方法 電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.toyota-boshoku.co.jp/jp/>
- 上場証券取引所 東京および名古屋の各証券取引所
- 本社所在地 〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町一丁目1番地 電話(0566)23-6611(代表)